

第2節 みどり・生物多様性の保全

環境指標の達成状況

指標項目	単位	目指す方向	基準値	上段：年次目標値／中段：実績値／下段：達成状況					最終目標値
				2017年	2019年	2020年	2021年	2022年	
みどりのパートナーの登録者数	人	増加	1,368	1,395	1,400	1,405	1,410	1,415	1,600
				1,410	1,500	1,501	1,517		
				○	○	○	○		

※「みどりとふれあうイベントの参加者数」「新たなみどりの確保量」は、P12 第2章 第2節 みどり・生物多様性プロジェクト参照

【現状及び課題】

◆市民と協働したみどりの保全が進み、「みどりのパートナーの登録者数」の目標を達成

「みどりのパートナーの登録者数」については、目標を達成しました。登録団体の減少はありましたが、それを上回る新規団体登録があった他、既登録団体の人数変更があり、登録者数は16名増加となりました。引き続き活動を支援し、市民と協働で行うみどりの保全を推進していきます。

主な施策の実施状況

2-1 生物多様性への理解の推進

2-1-1 多様な主体による教育・学習・体験の充実

○みどりのパートナー活動推進事業

ふるさと所沢のみどりを守り育てる条例に基づき、みどりの保全及び緑化の推進に関して、自発的かつ実践的な活動を行う個人又は団体をみどりのパートナーとして登録しています。

活動内容に応じて補助金を交付する等の支援を実施することで、みどりのパートナーによる様々な活動を促進しています。

[2022年度実績] 累計登録者数（2023年3月31日現在）：1,517人

	緑化の推進活動	みどりの保全活動
団体登録者	35団体（659人）	25団体（841人）
個人登録者	4人	13人

みどりのパートナーによる地域緑化創出面積：4,136 m²

みどりのパートナーによる保全活動面積：208,300m²



■みどりのパートナーによる地域緑化



■みどりのパートナーによる保全活動

第2節 みどり・生物多様性の保全

○ふるさとのみどり啓発事業

本市の豊かなみどりへの理解と意識の向上を図るため、ふるさとのみどりを多くの方に知っていただくとともに、保全活動やまちなか緑化の推進活動を促すきっかけづくりとして啓発事業を実施しました。

○みどりのカーテンコンテスト

夏の省エネに有効なみどりのカーテンを作成後、写真を応募していただき、2022年度は28作品の中から来庁者の投票によって大賞を選出しました。

○みどりのふれあいウォーク

これまで5月に開催していましたが、2022年度より11月開催として、1,363名の参加がありました。

○生物多様性の啓発

※P13 第2章 第2節 みどり・生物多様性プロジェクト参照



■みどりのふれあいウォーク

2-2 人と自然との絆の強化

2-2-1 みどりを守り育てる活動の推進

○樹林地の保全や緑化活動推進に関する講座の開催

本市のみどりの概況を理解し、多様な野生生物の生息・生育環境に配慮した質の高いみどりを保全するため、適切な維持管理を行うことができる専門家の育成を目的に、みどりのパートナー育成講座を開催しました。また、緑化の推進活動に関する基礎知識習得を目的とした緑化講座を開催しました。

[2022年度実績]

みどりのパートナー育成講座：開催数6回 / 受講者71人（延べ）

緑化講座：開催数1回 / 受講者15人

○農業の担い手である認定農業者や新規就農者への支援

認定農業者や認定農業者を含む農業者組織の農業経営の改善と省力化を推進するため、農業用機械や施設整備の導入費用の一部を補助しました。また、新規就農者に対し、農業経営の早期安定化を図るため、農業用機械の導入費用の一部や借り受ける農地の賃借料の一部を補助しました。

○体験農場推進事業

「農のあるまちづくり」を推進するため、体験農場を市民へ貸し出しすることで、農作業を体験していただき、農業への理解を深めてもらいました。また、利用者向けの講習会を実施しました。

○所沢農産物ブランド化推進事業

市内小中学生とその親を対象に17組34名を募集し、さといもの収穫体験と、いちごの摘み取り体験を実施しました。

2-2-2 野生生物の保護及び管理の推進

○里山保全地域等指定整備事業

市内に残る貴重な緑地を保全するため、地権者等の協力を得ながら、里山保全地域やまちなかみどり保全地区等の地域制緑地の指定、公有地化等を行うことにより、野生生物の保護を図りました。

○環境にやさしい農業の推進

農業やプラスチック系農業資材の使用量削減を図り、環境負荷を軽減するため、フェロモントラップ、緑肥、生分解性マルチフィルム等の導入費用の一部を助成しました。また、農業の持続的発展と自然環境の保全に資する農業生産活動を推進するため、有機農業を行う農業団体の取組費用の一部を補助しました。

2-2-3 希少な野生生物種の保全

○市内における野生生物の生息・生育状況の把握

くぬぎ山特別緑地保全地区において、希少種等に配慮した適切な維持管理を行うため、動植物調査を実施しました。

○ミヤコタナゴの保護

絶滅危惧種で国指定天然記念物のミヤコタナゴを保護し、人工増殖による種の保存の取組を行うとともに環境学習等の教材として活用しています。



■国指定天然記念物ミヤコタナゴ

2-2-4 外来種等への対応

○特定外来生物の防除

本市では、特定外来生物に認定されているアライグマやカミツキガメの防除に努めています。これらの生物は生態系、人の命や身体、農業等に影響を与えるおそれがあるため、特にアライグマについては「埼玉県アライグマ防除実施計画」に基づき、2022年度は104頭の防除を行いました。

2-2-5 動物の愛護と適正な管理の強化

○犬の登録・狂犬病予防注射の管理

狂犬病の発生を予防するため、犬の登録と狂犬病予防注射について管理を行っています。また、狂犬病予防注射接種の促進を図るため、集合狂犬病予防注射を実施しています。

[2022年度実績]

- 2022年度登録頭数：15,185頭
- 2022年度狂犬病予防注射頭数：10,988頭（動物病院での接種も含む）
うち、集合狂犬病予防注射頭数：1,814頭（市内42会場で実施）

○飼い方教室等の開催

犬については、飼い主のマナー及びモラルの向上を図るため啓発看板の作成や、狭山保健所管内所沢狂犬病予防協会と連携した「犬の飼い方教室」を開催しています。第1回は24名、第2回は26名の参加がありました。また、啓発看板については、507枚配布しました。

猫については、「所沢市飼い主のいる猫の適正飼養と飼い主のいない猫対策ガイドライン」の周知のため、「飼い主のいない猫対策セミナー」を年1回開催しています。2022年度は42名の参加がありました。

第2節 みどり・生物多様性の保全

○さくらねこ無料不妊手術事業

公益財団法人動物基金の「さくらねこ無料不妊手術事業（行政枠）」に参加し、無料不妊手術チケットを市民ボランティアに配布して不妊去勢をすることにより、野良猫の数を徐々に減らし、野良猫による生活環境への被害を軽減するとともに、動物飼養のマナー向上を図ることを目的としています。さくらねこ無料不妊手術チケットを利用して、2022年度は244件の不妊去勢手術を行いました。

2-3 みどりの保全

2-3-1 貴重なみどりの保全

○所沢市農地サポート事業

高齢化や後継者不足等により農業経営規模の縮小意向を持つ農業従事者から、農業経営規模拡大意向を持つ農業者や新規就農者へ売買・貸借したい農地を取り次ぎ、農地の流動化を図っています。

○所沢市水とみどりがつくるネットワーク計画策定事業

歩くことを大切にした「人を中心にしたまちづくり」の実現を目指し、主要な河川である砂川堀・東川・柳瀬川とところざわサクラタウン・中心市街地・狭山丘陵をつなぐ散策路を設定し、みどりの回廊をつくります。計画を推進することにより、人々が地域のみどり・歴史・文化に触れ、感じることで、新たな人の流れが生み出され、その相乗効果として地域産業の活性化や文化の広域的な交流、所沢ブランド向上等の原動力になることを目的としています。

計画の推進にあたり、各課で個別の事業をそれぞれに実施するだけでなく、水とみどりがつくるネットワークを構築するという共通の将来像を関係者で共有し、連携しながら一体的に取り組むため、庁内関係各課で組織する庁内調整会議（みどりトコトコ・プロジェクト会議）を開催しました。計画で設定した散策路を市民に案内する「所沢市おさんぽナビ」を配布しています。



■所沢市おさんぽナビ

2-3-2 街中のみどりの創出

○みどりの基本計画推進事業

本市のみどりに関する総合的な計画である「みどりの基本計画（2019年4月改訂）」に基づき、まちなかの緑化の推進を図るため、個人宅や事業所の在来種による緑化や緑化資材の案内、開発行為に対する緑化の指導等を行いました。

○公園及び街路樹管理事業

公園を気持ちよく利用してもらうため、公園内に光や風が通るよう樹木剪定等を行いました。また、都市景観の形成や防災、環境保全などの機能を持つ街路樹を健全に保つため、定期的に剪定、除草を行いました。

2-3-3 河川・湿地の保全

○河川・水路維持管理事業

河川・水路の環境を保全するため除草及び清掃を実施しました。また、「ふるさとの川再生事業」及び「水辺のサポーター」の登録団体も、河川・水路の清掃等の美化活動を実施しました。

[2022年度実績]

実施した水路等の除草面積：57,756m² / 実施した水路等の清掃延長：4,348m

「ふるさとの川再生事業」および「水辺のサポーター」登録団体数：9団体